

[保存版]

認定更新のための研修単位

2022年度版

はじめに

- ▶ 認定更新の手続きは、認定期間 5 年目に行います。
- ▶ 必要な資料(学会・研修会等における参加証等)は更新手続きまで大切に保管してください。

CDEJ 認定期間

▼更新手続

1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目
------	------	------	------	------

目次

第 1 項	単位の分類	2
第 2 項	自己申告における単位取得の方法	2
第 3 項	単位認定のパターン	2
第 4 項	自己申告における単位認定の条件(出席)	3
第 5 項	自己申告における単位認定の条件(発表または講演)	4
第 6 項	自己申告における単位認定の条件(雑誌・本等の掲載論文)	4
第 7 項	自己申告における単位認定の条件(各種認定・生涯研修制度の認定)	5~6
資料	研修コード表	7~12

お問い合わせ先

一般社団法人 日本糖尿病療養指導士認定機構

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-30-7 本郷 T&S ビル 3 階

TEL: 03-3815-1481 FAX: 03-3815-1487

※ 電話・FAX の番号間違いにご注意ください。

Webサイト: <https://www.cdej.gr.jp>

第1項 単位の分類

認定更新のため研修単位は、2種類に大別されます。

<第1群> 自己の医療職研修単位（職種別） → 20単位

<第2群> 糖尿病療養指導研修単位（職種共通） → 20単位

第2項 自己申告における単位取得の方法

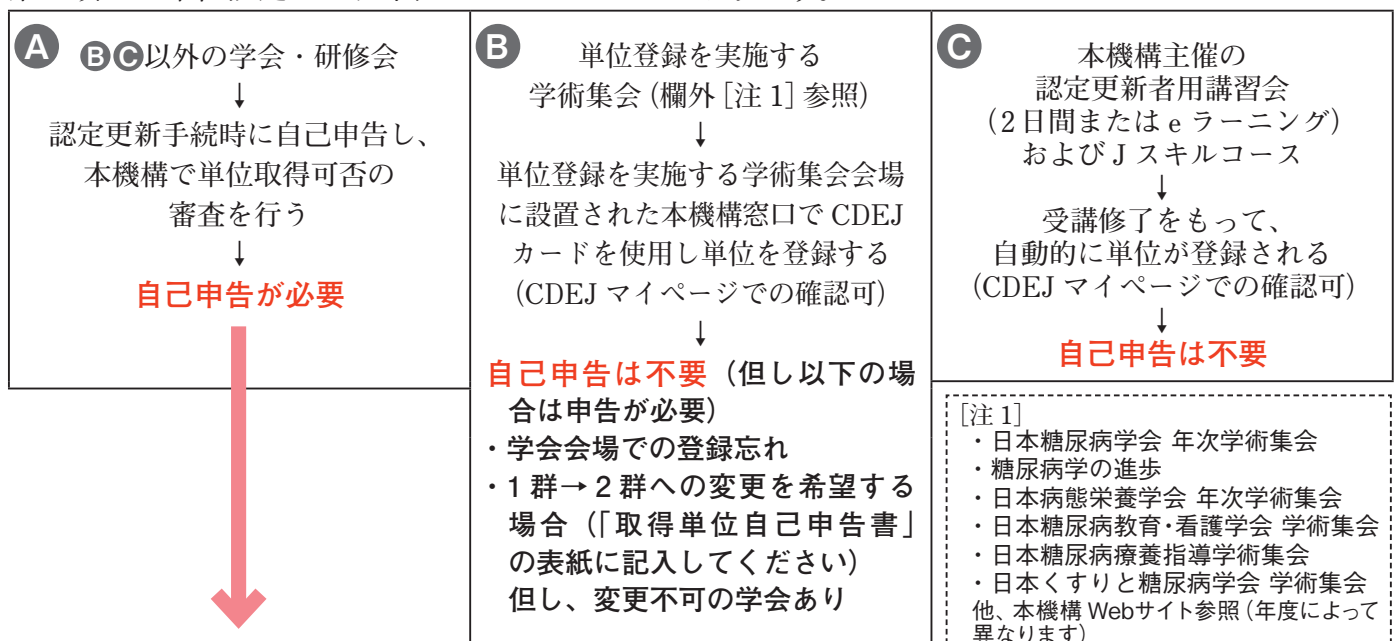
自己申告における単位取得の方法には、4つの方法があります。

No	単位取得の方法	条件	
1	学会・研修会等の出席	ア 研修コード表に該当する学会・研修会等であること イ 認定期間中に開催されていること ウ 上記ア、イを証明する資料を提出すること	→ 第4項へ (3ページ)
2	学会・研修会等での発表または講演による加算	ア 研修コード表に該当する学会・研修会であること イ 認定期間中に開催されていること ウ 筆頭者であること エ 発表内容が審査基準を満たしていること オ 上記ア～エを証明する資料を提出すること	→ 第5項へ (4ページ)
3	雑誌・本等の掲載論文	ア 認定期間中に発行された雑誌・本等に論文が掲載されていること イ 審査基準を満たしていること ウ 上記ア、イを証明する資料を提出すること	→ 第6項へ (4ページ)
4	各種認定・生涯研修制度の認定<第1群>	ア 研修コード表に該当する各種認定・生涯研修制度であること イ CDEJ 認定期間中最新の認定証(等)を取得単位自己申告書に貼付すること	→ 第7項へ (5~6ページ)

※学会・研修会等の(正式)名称、開催日、参加証等の発行有無等が不明の場合は各学会または研修会の主催者へお問い合わせください。

第3項 単位認定のパターン

第2項1の単位認定には、下記3つのパターンがあります。



第4項

自己申告における単位認定の条件(出席)

単位取得が認定されるためには、下記 **ア** **イ** **ウ** の3点を満たす必要があります。

ア 研修コード表に該当する学会・研修会等であること

単位取得が可能な学会・研修会は下記 **I**、**II**、**III** の3パターンあり、それぞれ「研修コード表」に該当するものだけが対象となります。

I 学会・研修会の名称で判断

II 主催・共催団体名で判断

※「後援」「協賛」等は該当しません

III 「〇〇が認定する研修会」で判断

「研修コード表」に
該当するか？
(7～12ページ)

イ 認定期間中に開催されていること

※複数の学会の合同開催は1学会分の単位となります。

ウ 上記**ア**、**イ**を証明する資料を提出すること

- ▶ 「参加の証明書類」には、下記の項目が記載されていることが必要です。下記項目の記載があれば、証明書類の形式・名称は問いません。(例：参加証、修了証、ネームカード、領収書等)

「参加の証明」の見本	●●●●●●●●●●●●●●●● 参加証	←①研修会名称
	●● ●●様	←②参加者(CDEJ)氏名
	開催日：XX年XX月XX日	←③開催年月日
	実質研修時間：●時間●分	←④実質研修時間 (挨拶・休憩・製品紹介等を除いた正味の研修時間のこと 時間数により単位数が異なる場合は必要)
	この研修会は、〇〇〇〇から 認定を受けています。 認定番号 〇〇〇〇 単位数 〇単位	←⑤認定を受けた旨、認定番号、単位数 (「〇〇が認定する研修会で判断する」場合は必要)
	●●●●●●●●●●●●●●●●	←⑥主催団体名
	代表世話人 ●● ●● 印	←⑦証明印

1枚の「参加の証明」で必要事項が網羅されていない場合、その他資料による補足が必要です。

(例)「主催・共催団体で判断する」場合(上記**ア** **II**)で参加証等に主催者名が記載されていない場合 → 「プログラム」で「主催者名」を補足

- ▶ 研修会等の主催者から「単位取得を証明するもの」が発行されない場合は、個別に依頼して証明をもらう必要があります。(「学会・研修会等出席証明書」をご活用ください。)
- ▶ 参加証等は原則として「原本」での提出が必要です。ただし、他の研修制度や勤務先に提出するなどやむを得ない場合はコピーでも可とします(例外あり。12ページ「備考」欄、[注2]参照)。

<第1群>

薬剤師：各種認定制度の受講シールをプログラム等に貼付したものは参加証の代用にはなりません。生涯研修手帳／記録での申告、もしくは主催者に個別に依頼して証明書類をもらう必要があります。

臨床検査技師：JAMTISのプリントアウトや生涯教育研修制度の「履修通知書」が「参加の証明」としては認められますが(上記①～⑦が確認できれば)、主催者・時間数等の確認が必要な項目の場合は、プログラム等の添付が必要です。

理学療法士：日本理学療法士協会・会員専用サイト「マイページ」の研修履歴のプリントアウトが参加の証明として認められます。(上記①～③、⑥⑦が確認できれば)※確認できなければ、詳細画面のプリントアウトが必要です。

※eラーニングについては個別に判断しますので、事前にご相談ください。

第5項 自己申告における単位認定の条件（発表または講演）

単位取得が認定されるためには、下記 **ア イ ウ エ オ** の5点を満たす必要があります。

ア	研修コード表に該当する学会・研修会であること
イ	認定期間中に開催されていること
ウ	筆頭者であること（共同研究者は認定対象外）
エ	発表内容が審査基準を満たしていること

第1群	看護師・准看護師は 「看護」 管理栄養士・栄養士は 「栄養」 薬剤師は 「医療薬学」 臨床検査技師は 「臨床検査」 理学療法士は 「理学療法」	} に関する内容であること
第2群	「糖尿病療養指導」に関する内容であること	

オ	上記 ア～エ を証明する資料を提出すること
----------	------------------------------

抄録集・プログラム等のコピーで以下4点を確認できる資料の提出が必要です。

- ① 学会・研修会名 ② 演題 ③ 演者名 ④ 発表内容（要旨）

提出資料の例	学会	抄録集表紙（または中表紙）、コンテンツ（演題と演者名の一覧）、要旨の3点
	研修会	プログラム、発表内容全部が分かる資料（例：パワーポイントを印刷したもの）

※発表の適否については、取得単位申告時に本機構が審査します。

※会場で単位登録をして発表した場合、出席単位の申告は不要ですが、発表分の単位については、「取得単位自己申告書」に必要事項を記載の上、発表内容等の必要書類を提出してください。

第6項 自己申告における単位認定の条件（雑誌・本等の掲載論文）

単位取得が認定されるためには、下記 **ア イ ウ** の3点を満たす必要があります。

ア	認定期間中に発行された雑誌・本等に論文が掲載されていること
イ	審査基準を満たしていること

審査項目	審査基準	
掲載方法	雑誌・本等に掲載されている	
論文内容	<第1群> 看護師・准看護師は 「看護」 管理栄養士・栄養士は 「栄養」 薬剤師は 「医療薬学」 臨床検査技師は 「臨床検査」 理学療法士は 「理学療法」	} に関する内容であること
	<第2群> 「糖尿病療養指導」に関する内容であること	
媒体	・一般（不特定多数の読者）に公開されている ・企業の発行する広報誌等の印刷物でない	

ウ	上記 ア、イ を証明する資料を提出すること
----------	------------------------------

論文の別刷または掲載ページのコピーで、以下5点を確認できる資料の提出が必要です。

- ①掲載誌名 ②発行年月日 ③論文演題 ④著者名 ⑤執筆部分の全部

※論文の掲載誌、書籍の適否については、取得単位申告時に本機構が審査します。

第7項 自己申告における単位認定の条件（各種認定・生涯研修制度の認定）

単位取得が認定されるためには、下記 **ア** **イ** の2点を満たす必要があります。

ア 研修コード表に該当する各種認定・生涯研修制度であること

イ CDEJ 認定期間中 **最新の** 認定証（等）を提出すること

- ・「認定期間中に取得」した「最新のもの」により20単位取得が認められます。
- ・下表は、「認定期間：2022年4月1日～2027年3月31日」の場合です。

※ CDEJ の認定期間を延長した場合、期間が異なりますので、ご相談ください。

◆ 看護師

制度名称	日本看護協会「認定看護師」「専門看護師」「認定看護管理者」
認定証の適否	認定看護師認定証・専門看護師認定証・認定看護管理者認定証 可：〈認定日〉が2022年～2026年のもの 不可：〈認定日〉が2021年以前のもの
注意事項	「修了証書」は不可。ファースト/セカンド/サードレベルは、本項目には含まれません。1-21（都道府県看護協会主催研修）として1単位×日数で計算し、日数がわかる資料を提出してください。

◆ 管理栄養士

制度名称	日本病態栄養学会「病態栄養専門（認定）管理栄養士」
認定証の適否	可：〈認定期間 自〉が2023～2027年「4月1日」のもの 不可：〈認定期間 自〉が2022年以前のもの
注意事項	<第2群>で日本病態栄養学会年次学術集会の参加4単位を申告する場合、参加証コピー不可（<第2群>と病態栄養専門（認定）管理栄養士の併用不可）。

◆ 薬剤師

制度名称	日本病院薬剤師会「日病薬病院薬学認定薬剤師」
認定証の適否	日病薬病院薬学認定薬剤師認定証 可：日本糖尿病療養指導士の認定期間中に取得したもの 不可：日本糖尿病療養指導士の認定期間外に取得したもの
制度名称	薬剤師認定制度認証機構が定める各種認定制度（6ページ参照）
認定証の適否	認定薬剤師証 可：〈認定期間開始日〉が2024年1月1日～2027年3月31日のもの 不可：〈認定期間開始日〉が2023年12月31日以前のもの
制度名称	日本医療薬学会「医療薬学専門薬剤師」
認定証の適否	認定薬剤師証 可：〈認定日〉2023～2027年の「1月1日」のもの 不可：〈認定日〉2022年以前のもの

（次ページへ続く）

(前ページより続く)

◆ 臨床検査技師

制度名称	日本臨床衛生検査技師会「生涯教育研修」
認定証の適否	可①〈修了年度〉が2022～2025年度の「修了証書」 可②「 仮認定 」〈修了年度〉が2021年度の「修了証書」と2022年度以降の「履修通知書」、計2点 ※〈修了年度〉が2026年度の「修了証書」提出により正式認定となる。 不可：上記2パターン以外のもの

◆ 理学療法士

制度名称	日本理学療法士協会「専門理学療法士」「認定理学療法士」
認定証の適否	「専門理学療法士認定証」「認定理学療法士認定証」 可：日本糖尿病療養指導士の認定期間中に取得したもの

◆ 「薬剤師認定制度認証機構」が定める各種認定制度の一覧

認証番号	実施機関	認定制度名
G01	公益財団法人日本薬剤師研修センター	研修認定薬剤師制度
G02	東邦大学薬学部	生涯学習認定制度
G03	一般社団法人薬剤師あゆみの会	生涯研修認定制度
G04	慶應義塾大学薬学部	認定薬剤師研修制度
G05	一般社団法人イオン・ハピコム人材総合研修機構	認定薬剤師研修制度
G06	明治薬科大学	認定薬剤師研修制度
G07	神戸薬科大学	生涯研修認定制度
G08	公益社団法人石川県薬剤師会	認定薬剤師研修制度
G09	新潟薬科大学	生涯研修認定制度
G10	北海道科学大学	生涯研修認定制度
G11	星薬科大学	生涯研修認定制度
G12	一般社団法人昭薬同窓会・平成塾	生涯学習認定制度
G13	一般社団法人薬学ゼミナール 生涯学習センター	生涯学習認定制度
G14	北海道医療大学	北海道医療大学 認定薬剤師研修制度
G15	埼玉県病院薬剤師会生涯研修センター	生涯研修認定制度
G16	一般社団法人日本女性薬剤師会	生涯研修認定制度
G17	日本大学薬学部	生涯研修認定制度
G18	一般社団法人薬局共創未来人材育成機構 薬剤師生涯研修センター	研修認定薬剤師制度
G19	昭和大学薬学部	生涯研修認定制度
G20	一般社団法人ソーシャルユニバーシティ 薬剤師生涯学習センター	薬剤師生涯研修認定制度
G21	公益社団法人神奈川県薬剤師会	生涯学習認定制度
G22	近畿国立病院薬剤師会	近畿国立病院 認定薬剤師研修制度
G23	一般社団法人上田薬剤師会	認定薬剤師研修制度
G24	京都薬科大学	生涯研修認定薬剤師制度
G25	公益社団法人日本薬剤師会	JPALS 認定薬剤師制度

(2022年3月1日現在)

＜第1群＞自己の医療職研修単位

パターン 3ページ 参照	コード	研修項目	出席	発表 論文	備考
I	1-01	日本糖尿病教育・看護学会 学術集会	4	2	1群・2群を選択可〔注1〕 (第2群との重複申請不可)
	1-02	日本看護科学学会 学術集会	2	2	
	1-03	日本看護学会 学術集会	2	2	
	1-04	日本看護研究学会 学術集会	2	2	
	1-05	日本看護診断学会 学術大会	2	2	
	1-06	日本腎不全看護学会 学術集会	2	2	
	1-07	日本老年看護学会 学術集会	2	2	
	1-08	日本母性看護学会 学術集会	2	2	
	1-09	日本小児看護学会 学術集会	2	2	
	1-10	日本地域看護学会 学術集会	2	2	
	1-11	日本家族看護学会 学術集会	2	2	
	1-12	日本がん看護学会 学術集会	2	2	
	1-13	日本精神保健看護学会 学術集会	2	2	
	1-14	日本リハビリテーション看護学会 学術大会	2	2	
	1-15	日本クリニカルパス学会 学術集会	2	2	
	1-24	日本慢性看護学会 学術集会	2	2	
	1-25	日本クリティカルケア看護学会 学術集会	2	2	
	1-26	日本難病看護学会 学術集会	2	2	
	1-27	日本循環器看護学会 学術集会	2	2	
	1-28	日本看護技術学会 学術集会	2	2	
	1-29	日本在宅ケア学会 学術集会	2	2	
1-30	日本助産学会 学術集会	2	2		
1-31	日本看護福祉学会 学術大会	2	2		
1-32	日本看護管理学会 学術集会	2	2		
1-33	日本新生児看護学会 学術集会	2	2		
1-34	日本救急看護学会 学術集会	2	2		
1-35	日本災害看護学会 年次大会	2	2		
1-36	日本手術看護学会 年次大会	2	2		
1-37	日本生殖看護学会 学術集会	2	2		
1-38	日本看護教育学学会 学術集会	2	2		
1-39	日本看護学教育学会 学術集会	2	2		
1-40	日本看護歴史学会 学術集会	2	2		
II	1-16	都道府県看護協会主催・共催 「看護(研究)学会」	2	2	
	1-18	日本糖尿病教育・看護学会 主催・共催 看護研修会	2-4	2	共催は参加証に認定番号が記載されている。 例「日糖教看学共催XXX号」
	1-20	日本看護協会主催・共催研修会	0.5-	2	時間数・日数要
	1-21	都道府県看護協会主催・共催研修会	0.5-	2	欄外参照〔注2〕
	1-23	看護系大学・大学院の看護科目 科目履修単位 (科目名に「看護」とあるもののみ可)	2		「科目履修証明書」が必要。 大学の1単位につき2単位
III	1-19	日本糖尿病教育・看護学会が認定する看護系学会・研修会等	0.5- 20	2	参加証に認定番号が記載されている。 例「日糖教看学認定XXX号」
	1-22	日本看護協会 認定看護師、専門看護師、 認定看護管理者の認定・更新	20		5ページ参照
-	1-91	看護に関する、雑誌・本等の掲載論文(筆頭者)		4	
-	1-92	看護に関する、雑誌・本等の掲載論文(共著者)		2	

〔注1〕 学会会場で登録済の「参加証」や学会会場で受け取った控えの提出は不要(重複申請不可)

〔注2〕 1-20、1-21 時間数・日数の記載が必要 ・1日の場合…1.5時間～3時間未満:0.5単位、3時間～4.5時間未満:1単位、4.5時間～6時間未満:1.5単位、6時間以上:2単位。
・2日以上…1単位×日数

＜第1群＞自己の医療職研修単位

パターン 3ページ 参照	コード	研修項目	出席	発表 論文	備考	
I	1-01	日本病態栄養学会 年次学術集会	4	2	1群・2群を選択可 (第2群との重複申請不可)〔注1〕	
	1-02	日本病態栄養学会 教育セミナー	4	2		
	1-03	食事療法学会	2	2		
	1-04	臨床栄養学術セミナー	2	2		
	1-05	日本栄養・食糧学会 大会	2	2		
	1-06	日本肥満学会	2	2		
	1-07	日本臨床栄養学会 総会	2	2		
	1-10	日本脂質栄養学会 大会	1	2		
	1-11	日本ビタミン学会 大会	1	2		
	1-12	日本生化学会 大会	1	2		
	1-13	日本生理学会 大会	1	2		
	1-14	日本消化器病学会 総会・大会	1	2		
	1-15	日本肝臓学会 総会	1	2		
	1-16	日本膵臓学会 大会	1	2		
	1-17	日本腎臓学会 学術総会	1	2		
	1-18	日本痛風・尿酸核酸学会	1	2		
	1-19	日本成人病(生活習慣病)学会 学術集会	1	2		
	1-20	日本アレルギー学会	1	2		
	1-21	日本口腔・咽頭科学会 総会	1	2		
	1-22	日本咀嚼学会 学術大会	1	2		
	1-23	日本摂食障害学会 学術集会	1	2		
	1-24	日本外科代謝栄養学会 学術集会	1	2		
	1-25	日本臨床栄養代謝学会 学術集会	1	2		
	1-26	日本透析医学会 学術集会・総会	1	2		
	II	1-09	都道府県栄養士会 医療事業部/医療部会主催・共催研修会	0.5-3		時間数・日数要 欄外参照〔注2〕
	III	1-08	日本病態栄養学会が認定する研修会等	0.5-2		参加証に認定番号 が記載されている。 例「XXXX-XX号」
—	1-27	日本病態栄養学会 病態栄養専門(認定)管理栄養士の認定・更新	20		5ページ参照	
—	1-91	栄養に関する、雑誌・本等の掲載論文(筆頭者)		4		
—	1-92	栄養に関する、雑誌・本等の掲載論文(共著者)		2		

上限あり
12単位

〔注1〕 学会会場で登録済の「参加証」や学会会場で受け取った控えの提出は不要(重複申請不可) また、**学会会場で登録済の場合、第2群への変更不可**

〔注2〕 **1-09 時間数・日数の記載が必要**

- ・1日の場合…1.5時間～3時間未満：0.5単位、3時間～4.5時間未満：1単位、4.5時間～6時間未満：1.5単位、6時間以上：2単位
- ・2日以上…3単位

＜第1群＞自己の医療職研修単位

パターン 3ページ 参照	コード	研修項目	出席	発表 論文	備考
I	1-01	日本薬学会 年会	4	2	
	1-02	日本医療薬学会 年会	4	2	
	1-03	日本薬剤師会 学術大会（年会）	2	2	
	1-04	日本臨床薬理学会 学術総会	2	2	
	1-05	医療薬学フォーラム 年会	2	2	
	1-06	日本薬学会 地方会 年会	2	2	
	1-07	日本薬剤疫学会 学術総会 年会	2	2	
	1-08	日本薬物動態学会 年会	2	2	
	1-09	日本 TDM 学会 学術大会	2	2	
	1-10	日本 DDS 学会 学術集会	2	2	
	1-11	日本クリニカルパス学会 学術集会	2	2	
	1-12	日本薬剤学会 年会	2	2	
	1-13	日本医療マネジメント学会 学術総会	2	2	
	1-14	日本病院薬剤師会 各支部地方会 年会	2	2	
	1-21	医療薬学に関連する学会 ※全国学会のみ	1	2	欄外参照〔注1〕
1-23	薬学系大学・大学院の薬学科目履修単位	2		「科目履修証明書」が必要。 大学の1単位につき2単位	
1-25	日本くすりと糖尿病学会 学術集会	3	2	1群・2群を選択可(第2群との重複申請不可)〔注2〕	
II	1-15	日本病院薬剤師会主催・共催研修会	0.5-3	2	主催者名、 時間数・日数要 欄外参照〔注3〕
	1-16	都道府県病院薬剤師会およびその支部主催・共催研修会	0.5-3	2	
	1-17	日本薬剤師研修センター主催・共催研修会	0.5-3	2	
	1-18	薬科大学、薬学部主催・共催研修会	0.5-3	2	
	1-19	日本医療薬学会主催・共催研修会	0.5-3	2	
	1-20	都道府県薬剤師会およびその支部主催・共催研修会	0.5-3	2	
	1-22	日本女性薬剤師会主催・共催研修会	0.5-3	2	
—	1-24	各種認定・生涯研修制度の認定（以下の3種類） ・日本病院薬剤師会「日病薬病院薬学認定薬剤師認定証」の取得 ・日本医療薬学会 医療薬学専門薬剤師の認定・更新 ・薬剤師認定制度認証機構が定める各種認定制度	20		5ページ参照
—	1-91	医療薬学に関する、雑誌・本等の掲載論文（筆頭者）		4	
—	1-92	医療薬学に関する、雑誌・本等の掲載論文（共著者）		2	

〔注1〕 1-21の対象となる学会

- | | | | |
|---------------|----------------------|---------------------|------------------|
| (1) 日本アレルギー学会 | (8) 日本肝臓学会 | (14) 日本腎臓学会 | (20) 日本内分泌学会 |
| (2) 日本移植学会 | (9) 日本救急医学会 | (15) 日本生化学会 | (21) 日本薬理学会 |
| (3) 日本衛生学会 | (10) 日本外科学会 | (16) 日本成人病（生活習慣病）学会 | (22) 日本臨床化学会 |
| (4) 日本化学療法学会 | (11) 日本公衆衛生学会 | (17) 日本生理学会 | (23) 日本老年医学会 |
| (5) 日本癌学会 | (12) 日本循環器学会 | (18) 日本東洋医学会 | (24) 日本臨床腫瘍薬学会 |
| (6) 日本眼科学会 | (13) 日本消化器病学会（総会・大会） | (19) 日本内科学会 | (25) 日本腎臓病薬物療法学会 |
| (7) 日本感染症学会 | | | |

〔注2〕 学会会場で登録済の「参加証」や学会会場で受け取った控えの提出は不要（重複申請不可）

〔注3〕 1-15～1-20、1-22 時間数・日数の記載が必要

- ・1日の場合…1.5時間～3時間未満：0.5単位、3時間～4.5時間未満：1単位、4.5時間～6時間未満：1.5単位、6時間以上：2単位
- ・2日以上…3単位

＜第1群＞自己の医療職研修単位

パターン 3ページ 参照	コード	研修項目	出席	発表 論文	備考
I	1-01	日本医学検査学会	4	2	
	1-03	医療研修推進財団 臨床検査技師 教育施設指導者研修会	4	2	
	1-04	(日臨技) 地区医学検査学会	0.5-3	2	主催者名、時間数・日数要 欄外参照〔注1〕
	1-06	都道府県 医学検査学会	0.5-3	2	欄外参照〔注1〕
	1-08	臨床検査に関連する学会・研究会 ※全国学会のみ	1	2	欄外参照〔注2〕
	1-09	世界医学検査学会 (IFBLS)	4	2	
	1-10	アジア医学検査学会	4	2	
II	1-02	日本臨床衛生検査技師会 (日臨技) 主催・共催 研修会	4	2	
	1-05	(日臨技) 地区主催・共催 研修会	0.5-3	2	主催者名、 時間数・日数要 欄外参照〔注1〕
	1-07	都道府県臨床 (衛生) 検査技師会主催・共催 研修会	0.5-3	2	欄外参照〔注1〕
III	1-11	日本臨床衛生検査技師会が認定する研修会等	0.5-2	2	参加証に認定番号が記載されて いる。 例「XX-XXXX 号」
—	1-12	日本臨床衛生検査技師会 生涯教育研修 修了証書取得	20		5 ページ参照
—	1-91	臨床検査に関する、雑誌・本等の掲載論文 (筆頭者)		4	
—	1-92	臨床検査に関する、雑誌・本等の掲載論文 (共著者)		2	

〔注1〕 1-04～1-07：時間数・日数の記載が必要

- ・1日の場合…1.5時間～3時間未満：0.5単位、3時間～4.5時間未満：1単位、4.5時間～6時間未満：1.5単位、6時間以上：2単位
- ・2日以上…3単位

〔注2〕 1-08の対象となる学会

- | | | | |
|------------------|---------------------------|--------------------------|----------------------|
| (1) 日本味と匂学会 | (36) 日本呼吸器学会 | (70) 日本神経学会 | (102) 日本脳神経外科学会 |
| (2) 日本アレルギー学会 | (37) 日本形成外科学会 | (71) 日本人工臓器学会 | (103) 日本農村医学会 |
| (3) 日本医療機器学会 | (38) 日本外科学会 | (72) 日本心身医学会 | (104) 日本臨床神経生理学会 |
| (4) 日本医学放射線学会 | (39) 日本血液学会 | (73) 日本周産期・新生児医学会 | (105) 日本泌尿器科学会 |
| (5) 日本医史学会 | (40) 日本結核病学会 | (74) 日本腎臓学会 | (106) 日本皮膚科学会 |
| (6) 日本移植学会 | (41) 日本血栓止血学会 | (75) 日本心臓血管外科学会 | (107) 日本医療・病院管理学会 |
| (7) 日本真菌学会 | (42) 日本嫌気性菌感染症学会 | (76) 日本人類遺伝学会 | (108) 日本病理学会 |
| (8) 日本遺伝子診療学会 | (43) 日本言語聴覚学会 | (77) 日本生化学会 | (109) 日本微量元素学会 |
| (9) 日本医用画像工学会 | (44) 日本検査血液学会 | (78) 日本整形外科学会 | (110) 日本生殖医学会 |
| (10) 日本ウイルス学会 | (45) 日本口腔科学会 | (79) 日本精神神経学会 | (111) 日本法医学会 |
| (11) 日本エイズ学会 | (46) 日本公衆衛生学会 | (80) 日本成人病 (生活習慣病)
学会 | (114) 日本保険医学会 |
| (12) 日本衛生学会 | (47) 日本交通医学会 | (81) 日本生体磁気学会 | (115) 日本卵子学会 |
| (13) 日本衛生動物学会 | (48) 日本呼吸器外科学会 | (82) 日本生理学会 | (116) 日本麻酔科学会 |
| (15) 日本生体医工学会 | (50) 日本職業・災害医学会 | (83) 日本染色体遺伝子検査学会 | (117) 日本脈管学会 |
| (16) 日本栄養・食糧学会 | (51) 日本細菌学会 | (84) 日本染色体遺伝子検査学会 | (118) 日本健康学会 |
| (17) 日本炎症・再生医学会 | (52) 日本サイトメトリー学会 | (85) 日本栓子検出と治療学会 | (119) 日本めまい平衡医学会 |
| (18) 日本音声言語医学会 | (53) 日本産業衛生学会 | (86) 日本先天代謝異常学会 | (120) 日本免疫学会 |
| (19) 日本温泉気候物理医学会 | (54) 日本産科婦人科学会 | (87) 日本総合健診医学会 | (121) 日本リンパ網内系学会 |
| (20) 日本解剖学会 | (55) 日本磁気共鳴医学会 | (88) 日本組織適合性学会 | (122) 日本薬理学会 |
| (21) 日本化学療法学会 | (56) 日本自己血輸血学会 | (89) 日本組織適合性学会 | (123) 日本輸血・細胞治療学会 |
| (22) 日本核医学会 | (57) 日本高次脳機能障害学会 | (90) 日本臨床エンブリオロジ
スト学会 | (124) 日本ハンセン病学会 |
| (23) 日本核医学技術学会 | (58) 自動呼吸機能検査研究会 | (91) 日本大腸肛門病学会 | (125) 日本リウマチ学会 |
| (24) 日本画像医学会 | (59) 日本耳鼻咽喉科学会 | (92) 日本体力医学会 | (126) 日本リハビリテーション医学会 |
| (25) 日本癌学会 | (60) 日本消化器外科学会 | (93) 日本超音波医学会 | (127) 日本臨床ウイルス学会 |
| (26) 日本眼科学会 | (61) 日本消化器内視鏡学会 | (94) 日本聴覚医学会 | (128) 日本臨床化学学会 |
| (27) 日本環境感染学会 | (62) 日本消化器病学会 (総会・
大会) | (95) 日本電気泳動学会 | (130) 日本臨床検査医学会 |
| (28) 日本感染症学会 | (63) 日本小児遺伝学会 | (96) 日本顕微鏡学会 | (131) 日本医療検査科学会 |
| (29) 日本肝臓学会 | (64) 日本小児科学会 | (97) 日本動脈硬化学会 | (133) 日本臨床細胞学会 |
| (30) 日本癌治療学会 | (65) 日本小児外科学会 | (98) 日本内科学会 | (134) 日本臨床分子形態学会 |
| (31) 日本気管食道科学会 | (66) 日本小児神経学会 | (99) 日本内分泌学会 | (135) 日本臨床微生物学会 |
| (32) 日本寄生虫学会 | (67) 日本受精着床学会 | (100) 日本人間ドック学会 | (136) 臨床微生物迅速診断研究会 |
| (33) 日本救急医学会 | (68) 日本循環器学会 | (101) 日本熱帯医学会 | (137) 日本臨床免疫学会 |
| (34) 日本矯正医学会 | (69) 日本自律神経学会 | | (138) 日本老年医学会 |
| (35) 日本胸部外科学会 | | | |

＜第1群＞自己の医療職研修単位

パターン 3ページ 参照	コード	研修項目	出席	発表 論文	備考
I	1-03	日本理学療法士協会が主催する理学療法士講習会、全国学術研修大会	4	2	主催者名要 ※eラーニングについては、個別にご相談ください。
	1-04	日本理学療法士協会または分科学会・部門が主催する学術集会・学術集会、研究会	4	2	
	1-05	理学療法に関連する国際学術集会 ※学術集会／大会／総会のみ	4	2	欄外参照〔注1〕
	1-06	理学療法に関連する学会・研究会 ※全国学会のみ	1	2	欄外参照〔注2〕
II	1-01	都道府県理学療法士会(協会)主催・共催 学術集会・研修会	2	2	主催者名要
	1-02	日本理学療法士協会ブロック主催・共催 学術集会(学会)・研修会	4	2	※eラーニングについては、個別にご相談ください。
—	1-07	日本理学療法士協会専門理学療法士・認定理学療法士の取得および更新	20		5ページ参照
—	1-91	理学療法に関する、雑誌・本等の掲載論文(筆頭者)		4	
—	1-92	理学療法に関する、雑誌・本等の掲載論文(共著者)		2	

〔注1〕 1-05の対象となる国際学術集会

- | | | |
|---------------------|--------------------------|----------------------|
| (1) アジア西太平洋理学療法学会 | (7) 国際リハビリテーション医学会 | (13) 国際老年精神医学会 (IPA) |
| (2) 世界理学療法連盟学会 | (8) 国際脊髄学会 | (14) 世界脳神経外科学会 |
| (3) 欧州心臓病学会 (ESC) | (9) 国際関節鏡・膝外科・スポーツ整形外科学会 | (15) アジア太平洋整形外科学会 |
| (4) 欧州脳卒中学会 | (10) 国際小児科学会 | (16) 米国胸部外科学会 |
| (5) 国際パーキンソン病シンポジウム | (11) 国際脳卒中学会 | (17) 米国整形外科学会 |
| (6) 国際リウマチ学会 (ILAR) | (12) 国際老年学会 | (18) 米国老年医学会 |

〔注2〕 1-06の対象となる学会・研修会

- | | | | |
|------------------|-------------------------|----------------------|----------------------|
| (1) 日本足の外科学会 | (31) 日本矯正医学会 | (60) 日本職業・災害医学会 | (91) バイオメカニズム学会 |
| (2) 日本アレルギー学会 | (32) 日本胸部外科学会 | (61) 日本自律神経学会 | (92) 日本脊髄障害医学会 |
| (3) 日本医療機器学会 | (33) 日本靴医学会 | (62) 日本神経心理学会 | (93) 日本ハンセン病学会 |
| (4) 日本医学教育学会 | (34) 日本形成外科学会 | (63) 日本周産期・新生児医学会 | (94) 日本泌尿器科学会 |
| (5) 日本医学放射線学会 | (35) 日本外科学会 | (64) 日本神経学会 | (95) 日本皮膚科学会 |
| (6) 日本医史学会 | (36) 日本血液学会 | (65) 日本人間工学会 | (96) 日本肥満学会 |
| (7) 日本移植学会 | (37) 日本結核病学会 | (66) 日本人工臓器学会 | (97) 日本病院学会 |
| (8) 日本医真菌学会 | (38) 日本肩関節学会 | (67) 日本人身医学会 | (98) 日本医療・病院管理学会 |
| (9) 日本医療情報学会 | (39) 日本健康医学会 | (68) 日本腎臓学会 | (99) 日本病理学会 |
| (10) 日本ウイルス学会 | (40) 日本健康教育学会 | (69) 日本心臓血管外科学会 | (100) 日本物理療法学会 |
| (11) 日本運動生理学会 | (41) 日本口腔科学会 | (70) 日本心臓リハビリテーション学会 | (101) 日本生殖医学会 |
| (12) 日本運動療法学会 | (42) 日本公衆衛生学会 | (71) 日本人類遺伝学会 | (102) 日本平滑筋学会 |
| (13) 日本衛生学会 | (43) 日本交通医学会 | (72) 人類動態学会 | (103) 日本めまい平衡医学会 |
| (14) 日本衛生動物学会 | (44) 日本呼吸器学会 | (73) 日本生化学会 | (104) 日本法医学会 |
| (15) 日本栄養・食糧学会 | (45) 日本呼吸器外科学会 | (74) 日本整形外科学会 | (105) 日本保険医学会 |
| (16) 日本疫学会 | (46) 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 | (75) 日本精神神経学会 | (106) 日本麻酔科学会 |
| (17) 日本生体医工学会 | (47) 日本呼吸療法医学会 | (76) 日本生理学会 | (107) 日本健康学会 |
| (18) 日本温泉気候物理医学会 | (48) 日本細菌学会 | (77) 日本生理人類学会 | (108) 日本脈管学会 |
| (19) 日本解剖学会 | (49) 日本産科婦人科学会 | (78) 日本先天異常学会 | (109) 日本免疫学会 |
| (20) 日本化学療法学会 | (50) 日本産業衛生学会 | (79) 日本大腸肛門病学会 | (110) 日本薬理学会 |
| (21) 日本核医学会 | (51) 日本耳鼻咽喉科学会 | (80) 日本体力医学会 | (111) 日本輸血・細胞治療学会 |
| (22) 日本癌学会 | (52) 日本集中治療医学会 | (81) 日本超音波医学会 | (112) 日本リウマチ学会 |
| (23) 日本眼科学会 | (53) 日本循環器学会 | (82) 日本フットケア・足病医学会 | (113) 日本運動器科学会 |
| (24) 日本感染症学会 | (54) 日本消化器外科学会 | (83) 日本動脈硬化学会 | (114) 理学療法科学学会 |
| (25) 日本肝臓学会 | (55) 日本消化器内視鏡学会 | (84) 日本東洋医学会 | (115) 日本リハビリテーション医学会 |
| (26) 日本癌治療学会 | (56) 日本消化器病学会(総会・大会) | (85) 日本内科学会 | (116) 日本臨床検査医学会 |
| (27) 日本気管食道科学会 | (57) 日本小児科学会 | (86) 日本内分泌学会 | (117) 日本臨床スポーツ医学会 |
| (28) 日本義肢装具学会 | (58) 日本小児外科学会 | (87) 日本熱帯医学会 | (118) 日本臨床薬理学会 |
| (29) 日本寄生虫学会 | (59) 日本小児神経学会 | (88) 日本脳神経外科学会 | (119) 日本リンパ網内系学会 |
| (30) 日本救急医学会 | | (89) 日本脳卒中学会 | (120) 日本老年医学会 |
| | | (90) 日本農村医学会 | |

＜第2群＞糖尿病療養指導研修単位

パターン 3ページ 参照	コード	研修項目	出席	発表 論文	備考
I	2-02	日本糖尿病学会 年次学術集会	4	2	欄外参照〔注1〕
	2-03	糖尿病学の進歩	4	2	欄外参照〔注1〕
	2-04	日本糖尿病学会 各支部地方会	4	2	
	2-05	日本糖尿病合併症学会	2	2	欄外参照〔注1〕
	2-06	日本糖尿病・妊娠学会 年次学術集会	2	2	欄外参照〔注1〕
	2-07	日本糖尿病眼学会 総会	2	2	欄外参照〔注1〕
	2-08	日本病態栄養学会 年次学術集会	4	2	欄外参照〔注1〕〔注2〕
	2-09	日本糖尿病教育・看護学会 学術集会	4	2	欄外参照〔注1〕〔注2〕
	2-10	日本糖尿病協会 療養指導学術集会	4	2	欄外参照〔注1〕
	2-11	AADE American Association of Diabetes Educators Annual Meeting & Exhibition 年次学術集会	2	2	
	2-12	IDF 会議 World Diabetes Congress 学術大会	2	2	
	2-13	IDF-WPR 会議 International Diabetes Federation Western Pacific Region Congress	2	2	
	2-15	日本糖尿病インフォマティクス学会 年次学術集会	2	2	
	2-16	日本くすりと糖尿病学会 学術集会	2	2	欄外参照〔注1〕〔注2〕
2-18	糖尿病療養指導に関連する学会 ・日本小児・思春期糖尿病学会 ・日本成人病(生活習慣病)学会 ・日本糖尿病医療学会 ・日本内分泌学会 ・日本肥満学会 ・日本フットケア・足病医学会	1	2		
III	2-14	認定機構が認定する「認定更新のための研修会」 (実施後に認定が取り消しとなる研修会がありますので ご注意ください。単位取得が認められません。) ※認定取り消し研修会の確認方法は欄外参照〔注3〕	0.5-2	0.5-2	上限あり8単位 参加証に認定番号が記載されている。 例「XX-XXXX」 欄外参照〔注3〕 参加証コピー不可
—	2-01	認定機構主催の認定更新者用講習会	8		欄外参照〔注4〕、1回必須
—	2-17	認定機構が開講するeラーニング「Jスキルコース」	0.5-20		欄外参照〔注4〕
—	2-91	糖尿病療養指導に関する、雑誌・本等の掲載論文(筆頭者)		4	
—	2-92	糖尿病療養指導に関する、雑誌・本等の掲載論文(共著者)		2	

〔注1〕 学会会場で登録済の「参加証」や学会会場で受け取った控えの提出は不要(重複申請不可)

〔注2〕 **2-08、2-09、2-16 1群・2群を選択可の学会**

- ・2-08：・管理栄養士・栄養士は選択可(第1群との重複申請不可、**学会会場で登録済の場合、第2群への変更不可**)
・第1群で1-27(20単位)を申告する場合、かつ第2群で2-08(4単位)を申告する場合は、
単位取得証明資料(参加証)は**コピー不可**(原本のみ有効)
- ・2-09：看護師・准看護師は選択可(第1群との重複申請不可)
- ・2-16：薬剤師は選択可(第1群との重複申請不可)

〔注3〕 **2-14 認定機構が認定する「認定更新のための研修会」で取得できる単位数は上限8単位(発表含む)です。**

- ・2-14「発表」単位数は、出席単位数と同じ単位数です。
- ・参加証は自分の名前(記載する)、研修会認定番号、主催団体の公印の有無を確認してください。必要事項の記載されていない参加証は「不可」となります。(不備がある場合は、早めに主催団体に確認してください。)
- ・研修会に出席の際は必ず参加者名簿に記名してください。
- ・認定取り消しになった研修会がありますので、単位申告をする際にCDEJマイページ「研修会2群(2-14)」で必ずご確認ください。

〔注4〕 **2-01 認定機構主催講習会と2-17 Jスキルコースは、受講修了をもって自動的に単位が登録されるので申告不要です。**